

平成 29 年度の学校評価

本年度の重点目標	生徒のやる気を引き出す「褒める」働きかけを意識して、帰属意識と活性化を目指す		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
保護者との連携 40周年記念行事 (総務部)	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との連携を密にして、よりよい学校づくりを目指す。 防災意識を高める。 生徒会と協力して、生徒参加型の40周年記念行事を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しいホームページや絆ネットを用いて、効果的に情報を発信する。 避難訓練における避難場所や避難経路、放送内容を工夫する 人文字、モザイクアート等へ参加させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が学校行事に興味を持ち、参加してもらえよう内容を工夫する。 緊張感のある訓練を実施することに努める。 生徒の帰属意識を高めることに重点を置く。
教育技術の向上 効果的な学習指導 (教務部) (各教科会)	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある授業づくりと反復練習により、基礎学力の定着を図る。 生徒が授業に意欲的に取り組む態度を育成し、学習指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> AL室有効活用のための授業実践に取り組み、平常課題の充実を図る。 公開授業参加者からの意見を参考に、高等学校での授業の方法や形態を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの意見を取り入れ、AL室の効果的な活用方法を検討していく。 本校の授業の問題点を見つけ、その改善に努める。また、各教科で研究授業を実施し、教育技術を向上させる。
基本的な生活習慣 身だしなみ (生徒指導部) (各学年会)	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣と正しい身だしなみ意識を身につけさせる。 いじめ防止について保健部(教育相談部)との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 期待される人間像をあらゆる場面(講話、指導部だより)で意識させ、予防的指導を徹底する。また、遅刻数を毎月提示することで、遅刻数減少に向けて教員・生徒の意識を高める。遅刻指数は(1.48)以下を目指す。 年2回実施する「生活アンケート」を活用して、いじめの把握に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣とは、挨拶、時間を守る、傾聴、整理・整頓、清掃をすること。また、身だしなみとは、「いつでも面接に臨めるように、服装・態度・言葉使いなどを整えること。またその心がけ」である。 生徒との信頼関係と、教員・保護者・地域の協力体制を築き上げる。また、いじめ発覚時は、指導・支援チームとの情報共有と共通理解を図る。
進路指導の充実 (進路指導部) (各学年会)	<ul style="list-style-type: none"> 教員、生徒、保護者の信頼関係に基づき、進路指導を実践する。 生徒の進路実現をかなえるため、進路指導体制を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の進路志望状況を職員間で共有し、保護者への積極的な情報提供に努める。 外部模試やインターシップ等を活用して、効果的に指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望調査等の情報を共有し、生徒の多様な進路希望をかなえられるように柔軟な対応に心がける。 進路検討会や保護者説明会等を利用して、個々の生徒に対する指導方針のぶれをなくす。
環境整備 教育相談の充実 (保健部)	<ul style="list-style-type: none"> 委員会活動と協働して、気持ちよく授業に臨める学習環境を作る。 教育相談を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 通常清掃について、美化委員を通じてゴミの分別をよびかけ、清掃・美化活動について意識啓発を図る。 学校カウンセラーによるカウンセリングが適切に行われ、相談した生徒が学校生活を送るのに資する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教室・トイレ・外庭など生活環境が清潔かつ安全に保たれているかを確認する。 教育相談が必要な生徒について、関係者と情報を共有し、適切に対処できる体制を確認する。
積極的な 生徒会活動 (生徒会部)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体となり、様々な学校行事が40周年を意識して取り組むことができるようにする。 生徒が主役になれる環境を作り、学校の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事を円滑に進めるために、生徒会執行部の活動を中心に各委員会やHRとの連携を図る。 行事の活性化のために、積極的な広報活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な場面を利用して、自律と自立を意識させることにより、集団の一員を自覚させる。 執行部を中心とした生徒会活動が「見える」ようにし、諸行事への取り組みへの参加を促すように努める。
学校関係者評価を実施する主な評価項目	保護者との連携、学習指導、生徒指導、進路指導、学習環境教育相談、学校行事、部活動		

28年度の学校評価

前年度の重点目標	地域・保護者から信頼され、生徒が学びたいと思う学校づくり		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
保護者との連携 (総務部)	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方々との密な連携による、よりよい学校づくりを心がける。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを用いて、効果的に情報を発信する。 メール配信をより一層活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 緊密な連携で、随時メール配信できた。ただ、学年ごとに扱いが異なるため、一部の学年で文書配布のタイミングと一致しないことがあった。
学習指導 (教務部・各教科会)	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領に沿った授業への改善をすすめ、生徒が授業に意欲的に取り組む態度を育成するとともに達成感を得られるように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校での授業研修をもとに授業について研究を行う。 本校の授業の問題点を見つけ、その改善に努める。また、各教科で研究授業を行い、教育技術を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の授業を見学し、中学校の教員が本校の授業を見学するなど、地域に開かれた学校としてもっと公開の機会を増やしていきたい。授業についてアンケートだけでなく、協議できるような時間も工夫する。「言語活動」の取り入れ方は中学校の方がうまくできているので学ぶべき点は多い。 一方的講義による授業でなく、アクティブラーニング等抜本的な授業における改革が必要である。
生徒指導 (生徒指導部・各学年会)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が基本的な生活習慣を身につける 生徒が正しい身だしなみを身につける 	<ul style="list-style-type: none"> 期待される人間像をあらゆる場面で方法を工夫して伝える。 予防指導を徹底する。 教員間、教員と保護者間、教員と地域間の連絡を密にした体制で臨む。 	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻指数は、9年振りに前年度比増。特定の生徒がかなりの回数遅刻していることが課題である。 交通安全においては、「雨天時、カッパ着用、カサさし禁止」の徹底のため、校外での指導の充実をはかりたい。 この2年間、生徒たちが好ましい行動を心がけるように「他者貢献」と言い続けているが、来年度は一層の呼びかけを重ねたい。
進路指導 (進路指導部)	<ul style="list-style-type: none"> 教員、生徒の信頼関係に基づく進路指導 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒の進路志望状況を職員集団で共有する。 卒業生の進路を参考にし、効果的に指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導部会で、情報の共有が十分にできた。 3年生の希望者にセンター試験の受験をさせることにより生徒が目標を持って勉強することができた。センター学習会は、昨年度よりもさらに有意義なものになった。また、学習会の欠席者対応も確実に実施した。全員が1月18日までに終了することができたことは、大きな成果だと思う。 今後も生徒の多様な進路に対応できるようにしたい。
保健 (保健部)	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちよく授業に臨める学習環境にする。 教育相談を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 通常清掃について、美化委員を通じてゴミの分別をよびかけ、清掃・美化活動について啓蒙を図る。 カウンセラーによる面談により、相談した生徒が学校生活を送るのに資する。 	<ul style="list-style-type: none"> おおむね目標は達成することができた。来年度はさらに生徒の活動の幅を増やす。 相談室やカウンセラー利用についての案内を生徒や保護者に行うとともに、継続して利用ができるように環境を整え、保健室来室者の利用のマナーやルールについて生徒に周知徹底させたい。 受診勧告者には保護者会の際に案内を配布してもらったので、昨年度より少し受診率が上がった。来年度も継続したい。
生徒会 (生徒会部)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒たちが主体となって学校行事を活性化させ、充実した学校生活づくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会執行部の活動を中心に各委員会やHRとの連携を図りながら、議会などの活動を活発にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事に意欲的に参加させ意欲や関心を持たせるための広報活動をさかんにする。 生徒会活動が「見える」ように積極的に執行部に働きかける。
総合評価	<p>新しいことに取り組んだり、問題点の改善に努めたりするなど、積極的に行っている。評価としては数値として把握できるものもあれば、数値には表れないが感触として十分手応えを感じ取れるものも多くある。今後、学校評議委員、PTA、地域等の意見も参考に一層努力していきたい。</p>		

ア 自己評価結果等